

く丸めて それを 米粒と いつ所に まぜ合  
せて そして 柏の葉の 真中へ のせて これ  
を 日なた へ 出しておくのです。

すると 例の通り 雀が た  
くさん やつてきて 夢中にな  
つて 葉の上へ 来て たべに  
かゝる。所が そこが 計略で  
す。そーら 米粒の中にわ 酒  
の糟が ませて いましよー!!!  
そこです。米だと思つて 食べ  
た中には、豈計らんや 酒糟  
が まぎつて居たから 堪らな  
い。いー加減に 食べて もー そろゝ 飛ん  
で 歸らう と 思ふ時分には からもー 酔つ  
ぱらつて仕舞つて 動けない そーこう してる



中に そろゝ 眠たくなつて 前後も 知らな  
いで 寝こんでしまうので。

こーなると もー しめたもんで 其中に 柏  
の葉が だんぐ 日に 枯れて 見てる うち  
に 寝こんでる 雀を 巻いて仕まう。そこで  
雀殿が やつと 酔が醒めても もー 飛んでく  
ことも出来ない。だから わけもなく 雀が 何  
羽でも捕るのである。

### 謎々の解

- (一)の字とかけて 船人の手と解く。心は 艫(ろ)の上に在り。
- (二)の字とかけて 唇と解く。心は 齒(は)の前に在り。
- (三)の字とかけて

車力しやりきの辨當べんどうと解く。心こころは 荷に(に)の上うへに在あり。

この次の考かんがへもの

力ちから轉さん二山じょうのいし上をころ石はし 刀かたな斬なす二水いげん笥のたけ竹をきる 不遠せんりのあち二千をこ

里道うしごみ 抱玉なまをいだ二一人いちにんのう郎う

昔むかしの英雄いゆうの名な。誰たれでしよー？

つぎのことばを出来るでき丈だけ早く言いはつて御覽ごらん

おまへのまへがみさげまへがみ。



家庭

子母里こいりそーだん

こにし のぶはち

おくさん くらべ



十人

白しろかねにも、黄金こがねにも、まさるとうたはれる子こ實じを持もてる親おやの心こころに、上下じょうげや貴賤きせんの差別さべつのあろうはずはないと思おもひますに、兎角てかく、富める人の子や、貴き人たかきの弟おとうとは、人の注意ちゅういの厚あつさにすぎ、貧みしき人の子や、賤いやしき人の子には、人の注意ちゅういの薄うすさにすぐかに見ゆるは、私のひがめでありましようか